



## キャリア教育のこと ～進化する棚倉町のキャリア教育～

棚倉町教育委員会教育長 松本 市郎

私の座右の銘は校長になった頃から変わらず、「何事もやってみなくちゃ分からない」である。

およそ7年前から朝散歩を始めた。毎朝5時から隣の浅川町にある城山公園に行き、登ったり下りたりと1時間程度散歩している。その城山の頂上に、上の写真の石碑『YMWY(下に小さく)何事もやってみなくちゃわからんよ』がある。これは浅川町が生んだ癌研究の先駆者、吉田富三博士を顕彰し毎年浅川町が授与している「吉田富三賞」を受賞した方の記念の石碑である。そう、ビックリ、私と同じ座右の銘が鎮座しているのである。ただ同じ言葉でも、自由にどんな研究をしても許される研究者と、教育改革を理解しても何かに縛られなかなか行動できない教育者(教育長、校長など)の現状にはちがいがるように思える。そこで私は本町の管理職に対して、威勢よく「校長として子どものためにやりたいことがあれば周りに遠慮せずどうぞやってください。失敗したときは私が責任を取ります。」と何時でもクビを差し出すつもりでお願いをしてきた。

さて、本町のキャリア教育のテーマは平成25年度から「夢をつなぎ、よりよく生きる子どもの育成」と一貫している。幼稚園から小学校そして中学校・高校へと一人一人の夢をつなぎ、自分らしい生き方を見つけ、よりよい人生

を送ってほしいとの願いからである。平成26年度に元文科省道徳調査官の押谷由夫先生が、道徳が特別の教科になった理由として、「人間としての自分らしい生き方」にあると提言していたことも本町のテーマにとってはありがたかった。そんなこんなで職場体験を中心に始めたキャリア教育であるが、今年度の棚倉小学校を見ると、幼・小・中・高と夢をつなぐキャリア・パスポートの活用を研究し、日本キャリア教育学会にその成果を発表したり、その他を含めて学会誌に掲載されたりと活躍した。また2学期制の前期・後期をさらに分割、4学期制ならぬ四半期として評価していることは、企業のお大半が四半期決算であることを考えると、学校と社会とのつながりという意味で珍しい取組となっている。これは文科省キャリア教育調査官も称賛している。ということで、もう当初の私の意図を遙かに超えた各先生方の発想、工夫に頭が下がる思いであり、密かに拍手を送っている。教育長に赴任して9年目、キャリア教育を始めて8年目が終わる。最近になって漸くキャリア教育の山、目指してきた頂上が見えてきたように感じる。私が歩んできた試行錯誤の連続であったこの8年は、登山でいうところの「ラッセル」だった。この先は、先生方が頂上を目指して切り切ってくれることを期待している。

## 受賞おめでとうございます～令和2年度 教育・文化関係表彰～



- 叙勲
  - 秋の叙勲(瑞宝双光章)
 

元鯨川村教育委員会教育長	奥貫 洋
元白河市立白河第一小学校長	太田 雅信
- 文部科学大臣表彰
  - 地方教育行政功労者表彰
 

元矢吹町教育委員会教育長	栗林 正樹
泉崎村教育委員	山田 睦子
  - 教育者表彰
 

白河市立白河第一小学校長	菊池 篤志
--------------	-------
  - 子供の読書活動優秀図書館表彰
 

泉崎村立泉崎図書館	
-----------	--
  - 優良PTA表彰
 

白河市立小田川幼稚園PTA	
---------------	--
  - 優秀教職員表彰
 

白河市立みさか小学校教諭	荒井 智
棚倉町立棚倉小学校教諭	戸井田 瞳
- 県教育委員会表彰
  - 学校教育功労者表彰
 

白河市立白河第一小学校長	菊池 篤志
白河市立白河第三小学校長	小玉 昭男
  - 教育・文化特別功績表彰
 

西郷村立小田倉小学校 吹奏楽部	
-----------------	--
  - 優秀教職員表彰
 

白河市立白河第一小学校教諭	大竹 晃司
西郷村立熊倉小学校主査	尾又 芳行
西郷村立小田倉小学校教諭	鈴木美沙歩
  - 永年勤続教職員表彰
 

小・中学校	31名	県立学校	17名
-------	-----	------	-----
  - 教職員研究論文
 

特選	
個人	白河市立白河第三小学校 主幹教諭 伊東 恭一
個人	白河市立みさか小学校 教諭 荒井 智
入選	
団体	棚倉町立棚倉小学校
- 県学校保健会表彰
  - 学校保健功労者
 

白河市立信夫第一小学校	学校医	尾股 丈夫
矢祭町立矢祭中学校	学校医	鈴木 直文
泉崎村立泉崎第一小学校・泉崎第二小学校	学校歯科医	赤沼 龍一
西郷村立西郷第一中学校	学校歯科医	安部 直人
白河市立白河第四小学校	学校薬剤師	堀田 信一
  - 学校安全ボランティア活動奨励賞
 

関辺地区見守り隊	
----------	--
- 県学校歯科保健優良校表彰
  - 【年度表彰】
    - 優秀賞
 

西郷村立米小学校	西郷村立羽太小学校
西郷村立小田倉小学校	中島村立中島中学校
    - 努力賞
 

白河一小	みさか小	釜子小	信夫二小	熊倉小
鮫川小	五箇中	東中	大信中	西郷二中
    - 奨励賞
 

小田川小	
------	--



# 夢と希望を育む県南の教育の推進 ～学校教育課 令和2年度事業の成果～

## 豊かな心の育成

本年度、域内の児童生徒の「豊かな心の育成」のため、「道徳教育の充実」及び「教育相談体制の整備」を重点として取り組んで参りました。

「道徳教育の充実」につきましては、11月24日、白河市立小田川小学校を会場として、道徳教育地区別推進協議会を開催しました。秋田公立美術大学副学長 毛内嘉威教授より、「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～道徳授業のPDCA～」と題して講演をいただきました。児童生徒の実態に応じた指導、教材の生かし方や発問、思考ツールの活用等、道徳科の授業改善の視点をすることができました。

「教育相談体制の整備」につきましては、5年間で県内全ての小学校、中学校、高等学校を対象として実施してきた「教育相談スキルアップ研修会」が本年度で終了となります。個別の理解シート作成による継続した児童生徒の理解、援助チームシートの作成による具体的な行動支援など、チームの構成員（教員、保護者、SC・SSW等）が共通の目標をもち、それぞれの専門性と立場を生かして、困っている児童生徒を総合的に理解し、効果的に援助することが今後、更に望まれます。

## 子どもの学ぶ意欲に火を灯す

はじめに、コロナ禍において様々な工夫を凝らし、児童生徒の学力向上のためにご尽力くださった先生方に感謝いたします。先生方のご協力により、教育事務所としても学校訪問をはじめ、学力向上に係る様々な取組を推進できました。数多くの成果の中から4点挙げてみたいと思います。

- ① 認め合い、高め合う学級風土のもと、児童生徒が安心して自分の考えを発表したり他者の考えから自分の考えを広めたり深めたりする姿が多く見られました。
- ② 「授業スタンダード」やその「チェックリスト」、「家庭学習スタンダード」を自校化して効果的に活用し、授業改善につなげている学校が多く見られました。
- ③ 「学級・授業づくりセミナー」では、講師の素晴らしい実践を多くの参加者で共有することができ、教員同士の学び合いが活性化されました。
- ④ 2月に実施した学力向上担当者等研修会では、PDCAサイクルの視点に基づき、次年度の学力向上に向けた取組の重点について共通理解を図ることができました。

これらの成果をもとに、今後も児童生徒の学ぶ意欲に火を灯す授業づくりや学力向上の手立てについて先生方と共に考えていきたいと思ひます。

## 健康課題解決に向けた 基盤づくり

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「学校の新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障いただきました。皆様の日々の対応に感謝申し上げます。

次の表は、今年度の県南域内肥満調査の結果と昨年度の結果です。

今年度と昨年度の肥満度（%）の比較【標準】

学年	男子			女子		
	R1	R2	差	R1	R2	差
小1		91.0			90.7	
小2	92.5	88.8	-3.7	92.0	89.3	-2.7
小3	91.5	85.8	-5.8	91.9	87.5	-4.4
小4	88.4	85.4	-3.1	87.6	86.0	-1.6
小5	83.3	78.7	-4.5	86.6	86.9	0.3
小6	83.3	79.7	-3.6	88.4	85.8	-2.6
中1	85.8	85.5	-0.3	88.0	86.1	-1.8
中2	83.7	84.4	0.7	87.2	88.5	1.3
中3	87.4	85.3	-2.1	86.8	89.0	2.3

この表を見ると、男子の標準児童・生徒は、中学2年生以外の学年が減少し、女子も半数以上の学年で減少しています。つまり、肥満傾向児童・生徒が増加しています。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいとされます。ぜひ、学校における体力向上推進計画を、コロナ禍における体力維持、向上の視点で工夫・改善していただき、学校一丸となって取り組んでいただきたいと思います。

## 特別支援教育の推進

### 『県南特別支援教育連携協議会』

医療・保健・福祉・教育・労働等、関係機関との連携を図り特別支援教育の充実を目的とした本協議会担当者会を、本年度も1月に実施しました。特別支援教育課から「今年度の取組状況と課題について」の報告、教育事務所から「特別な支援を必要とする子どもの就学の場について」の情報提供、市町村教育委員会の取組等についてのグループ協議等を行いました。グループ協議では、個別の教育支援計画・指導計画、学びの場、保健師との連携についてなど、参加者それぞれの立場から意見が出され、熱心な協議が行われました。

来年度は、市町村教育委員会の取組等を中心とした協議を行う場として「体制促進協議会」を設け、年2回実施する予定です。「県南特別支援教育連携協議会」では、今年度同様定例会と担当者会の2回実施の予定ですが、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関との連携に重点をおいた内容にしていきたいと考えています。混乱のないように進めていきたいと思ひますが、不明な点がある場合は御連絡いただけると助かります。

今後も「共生社会」を目指した特別支援教育の充実に向けていきますので、ご理解とご協力をよろしく願ひいたします。



# 社会に開かれた教育課程実現のために

## ～コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)と地域学校協働活動の一体的推進～

文部科学省では、コミュニティ・スクール（以下CS）と地域学校協働活動の一体的な推進による地域と学校の連携・協働体制の構築を推進しています。

2020年度CS及び地域学校協働活動実施状況調査（調査基準日令和2年7月1日）が文部科学省より公表されました。

その調査内容と県南地区の状況を比較してみました。

○全国公立小・中学校、義務教育学校におけるCS設置率（県南地区：55校中14校設置）

全国 30.7% 福島県 13.6% **県南地区 25.5%**

○全国公立小・中学校、義務教育学校における地域学校協働本部設置率（県南地区：9市町村中4市町村設置）

全国 60.3% 福島県 59.9% **県南地区 44.4%**

○全国公立小・中学校、義務教育学校におけるCSと地域学校協働本部両方の機能が備わっている学校の割合（県南地区：55校中10校実施）

全国 23.0% 福島県 8.8% **県南地区 18.2%**

この結果から、全国と比較すると、県南地区は3項目とも下回っていますが、「CS設置率」が高いため、「CSと地域学校協働本部両方の機能が備わっている割合」は、県より高くなっています。

右の図の「CS」では、地域とともに学校経営改革を進める組織として、地域住民と教職員が相互理解を図り、「地域とともにある学校づくり」をめざします。「地域学校協働本部等」では、幅広い地域住民や団体と学校とがネットワークを組み、ともに次世代育成について協議し、「学校

を核とした地域づくり」を推進していきます。「地域学校協働活動」では、学校・家庭・地域が足並みをそろえ、地域ぐるみで活動を推進することで、学校、地域の双方にとってメリットのある活動を継続的に実施することができるようになります。

「なぜ、CS？学校評議員制度との違いは？」「地域学校協働活動ってどんな活動？」そのような声が聞かれますが、時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化してきています。「地域住民等の参画を得て、社会総がかりでの教育を実現し、地域を活性化する」という視点をもって、これからの学校の在り方を考えていくことが大切ではないでしょうか。



## 小 学 校 紹 介

きらり輝く みさかっ子

白河市立みさか小学校

プロから学ぶ

中島村立滑津小学校

「広い心で いつも輝いている子ども」これは、みさか小学校の教育目標です。この教育目標のとおり、日々の学校生活の中で、子ども達のきらり輝く姿が見られます。

今年の運動会は、午前中の実施。種目をできるだけ減らさないように計画したため、終了時刻が遅くなる事が心配されました。しかし当日は、子ども達の素早い行動、6年生のテキパキとした係の動きで、予定より30分以上早く終了することができ、その行動力は、本当に見事でした。

また、5・6年生の演奏に全校生が沿道で声援を送ったみさか地区交通安全鼓笛パレード、工夫を凝らした演技を披露した発表授業参観。コロナ禍の影響で、練習もままならない中でしたが、短い練習時間で仕上げたとは思えないその素晴らしい演奏・演技は、保護者、地域の方々の胸を打つものでした。

制約の多い学校生活。その中でも精一杯成長を遂げようと、子ども達の姿。そのきらり輝く姿に、教職員自身が力をもらうことができた1年でした。

(写真：みさか地区交通安全鼓笛パレード)



本校では多くの方々に来校いただき沢山のことを学んでいます。絵画指導、書写指導、和楽器指導などは、毎年専門の先生においでいただき、今年度も子ども達は素晴らしい成果を上げることができました。中島村に伝わる「汗かき地蔵太鼓」の指導は地域の方が講師となり3年生が伝統を引き継ぎます。今年度は行うことができませんでしたが、毎年学習発表会で披露しています。

また、「ものづくりマイスター」によるものづくりも毎年実施しており、今年度もすべての学年で実施し、紙飛行機、ペン立て、和菓子作りなどを楽しく行うことができました。そのほかにもスーパーサイエンス校としてJAXAによる出前授業を実施した他、租税教室、人權擁護教室、千葉麻美さんによる陸上教室、東北電力出前授業等たくさんの方が来校し授業をしていただきました。多くの授業を通して、知識や技能だけでなく、感性を磨いたり、様々な分野へ興味を広げたり、子ども達は多くのことを学ぶことができました。

(写真：JAXAによる出前授業)



## 本年度を振り返って



### 種をまくということ

福島県立西郷支援学校  
校長 阿部 和行

西郷支援学校は、二十数年前にも教諭として9年間勤務した学校です。縁のある学校ということなのかもしれません。時折、当時まかれた種がその後どう生長したのか、見届けることがあります。校内の行事や事業だけでなく、当時、立ち上げられた共同作業所が、支援費制度や障害者自立支援法の施行を経て、現在、各種事業所として大きく発展している様子などです。うれしくなります。

今年一年、私たちはコロナ禍の中で、種々な取組をしました。毎日が試行錯誤の連続ですが、今、種をまいていると思えば、また、元気が湧いてきます。



### 笑顔で元気を届けるために

西郷村立川谷中学校  
教頭 矢吹 章

本校は、1つの校舎に小学校と中学校が併設されている小中一貫教育です。児童生徒の数は少ないですが、豊かな自然、協力的な保護者、地域の方の応援のおかげで、川谷ならではの充実した教育活動が展開されています。教頭として校長先生のご指導の下、教職員と保護者、地域の方をつなぎ、充実した教育活動が展開できるよう調整を図ることができました。今後も、笑顔あふれる学校・地域を目指して、校長先生の学校経営を支え、教職員の力を結集しながら、子どもたちの成長のために精一杯取り組んでまいります。



### 1年を振り返って

矢吹町立善郷小学校  
教諭 箱崎 葉月

初任者としての1年を振り返ると、試行錯誤の毎日だったなと思います。初めてのことばかりで戸惑うこともありましたが、初任者研修や先生方から学んだことを実践しながら、子どもたちと向き合ってきました。特に学級経営については悩むことも多くありましたが、その中で感じたことは、いろいろな友達と共に過ごし、学ぶことが学校の面白さであるということです。うまくいかないことや失敗もたくさんありますが、子どもたちがいろいろな人と関わりながら成長していけるよう、自分自身も更に成長していきたいです。



### 1年間を振り返って

矢祭町立矢祭小学校  
教諭 鈴木 美遥

ずっと前から夢であった小学校教諭として採用されてから1年が経ちました。この1年間を振り返ると、経験から多くを学んだ1年だったように思います。教え導く立場になったからこそ分かる、喜びや難しさを肌で感じながら、日々子どもたちと向き合いました。初任者研修で学んだことや先輩の先生方から教えていただいたことを日々の実践に生かしていくことで、子どもと共に、小さな「できた」を積み重ね、成長することができました。「子どもと真摯に向き合う」という初心を忘れず、これからも学び続ける教師を目指していきたいです。

今年度の各種事業推進にあたっては、以下にご紹介する各学校にご協力いただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応もある中、ご協力いただき大変ありがとうございました。各学校の実践を、ぜひ次年度の教育活動の参考にさせていただければと思います。

- 教科担任・タテ持ち推進校 白河市立みさか小学校 棚倉町立棚倉小学校
- 白河市立白河第二中学校 棚倉町立棚倉中学校
- 小学校英語教育推進校 白河市立みさか小学校 矢吹町立矢吹小学校 棚倉町立棚倉小学校
- AI時代を生き抜く読解力向上事業研究協力校 泉崎村立泉崎第一小学校 塙町立塙中学校
- 算数・数学科コアティーチャー配置校 棚倉町立棚倉小学校 白河市立白河第二中学校
- 理科コアティーチャー配置校 中島村立滑津小学校 白河市立五箇中学校
- 道徳教育総合支援事業研究推進校 白河市立小田川小学校
- 地域と共に創る放線線・防災教育推進事業実践協力校 白河市立大信中学校
- スペシャルサポートルーム実践校 白河市立白河第二中学校 棚倉町立棚倉中学校
- “ひがししらかわ”輝くふる郷体験事業 棚倉町立棚倉小学校 棚倉町立社川小学校 棚倉町立高野小学校
- 棚倉町立近津小学校 棚倉町立山岡小学校 塙町立塙小学校
- 塙町立笹原小学校 矢祭町立矢祭小学校 鮫川村立鮫川小学校

県南教育事務所発行の「県南社教 TIMES」及び「学校教育課通信」において取組の一部をご紹介します。

【県南教育事務所Webページ】 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70310a/>